

情報化構想 支援のご提案：サンプル

01switch合同会社

目次

現状のシステムと業務・情報の考え方

システムの刷新・構築への大きな課題

課題と解決の方向性のご提案

新情報システム化構想の考え方

今後の新情報システムグランドデザインの考え方

新情報システムグランドデザイン

新情報システム構築のロードマップ案

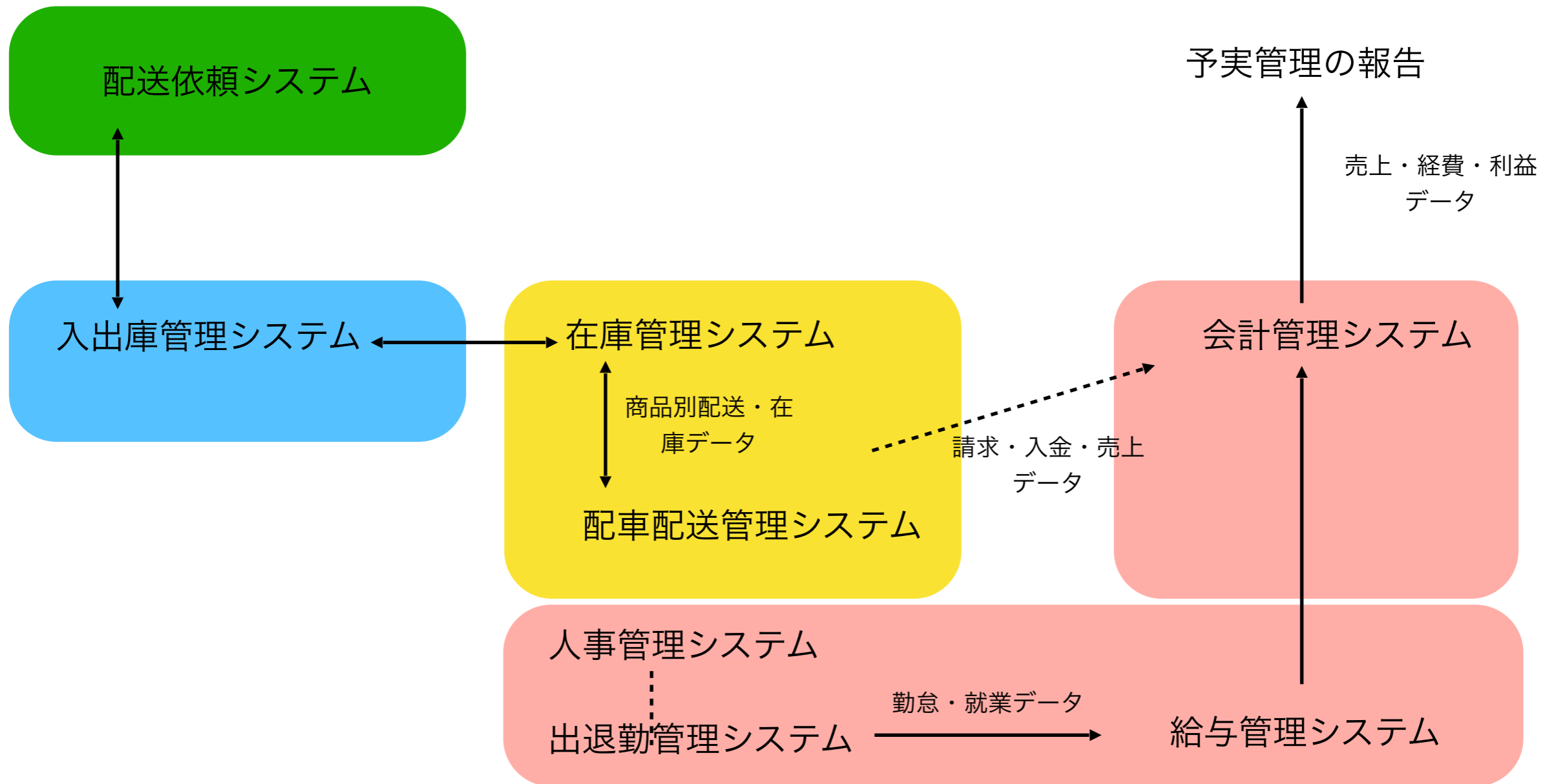
マスタープラン

一定の納期・品質にて決められた期日までに、商品を配送又は配送管理を行うことで、収益を確保する

自社とコスト		顧客の状況と収入の流れ		
協力会社 傭車業者 設備管理業者 インフラ系業者 システムベンダー	主な事業活動 配送事業 倉庫管理事業	顧客提供価値 決められた納期 に決められた品質で製品を配送 または、その配送管理を行う	顧客と関係 BtoBシステム Eメール FAX 電話 LINE	顧客セグメント 配送の必要がある荷主（個人は無し）
	主なリソース 自社車両 傭車車両 自社倉庫 従業員		チャンネル 一般荷主	
コスト構造 人件費、下払費用、車両維持費、部材調達費、システム費用、消耗品費ほか		収入の流れ 配送手数料		

現状システムと情報化の考え方

必須業務を回すシステムと仕組みはあるが、サーバー老朽化・業務効率化・情報活用の面で弱く、又、開発元現ベンダーが運用保守事業を数年の内に手放す恐れがある



システムの刷新・構築への大きな課題

1、刷新対象は、全体の機能におよびプロジェクト管理が大規模

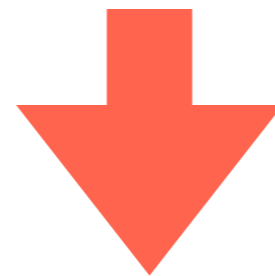
2、現行の開発元への再発注が出来ない。

現システムの仕様書もない。

業務機能・システム機能・情報処理・活用など、ゼロから引き直す必要がある。

3、大規模かつ全体を構想して管理して回すリソースが社内に非常に

不足、また、要件定義に必要な業務メンバーのパワーも弱い



開発でも運用でも大きな障害・ハードルが出るリスクが高く予想される

課題と解決の方向性のご提案

課題抽出（分析）

システム構築が大規模だが、リソース不足
上流構想から下流運用までの、実経験が社内にはない
開発元課題やサーバー期限で、構築期間が限られる



解決の方向性

01switchにて、構想／計画、ベンダー選定・評価、システムと業務の
マッチングほか、プロジェクト全体支援をさせていただきます

01switch合同会社の大規模システム構築の実績例

菓子製造業：売上規模300億円

範囲：構想～計画～構築～展開・運用／教育まで

役割：プロジェクトマネージャ、ITコーディネーター、CIO、開発支援マネージャ、運用教育リーダー

導入システム：配合管理、生産管理、在庫管理、物流管理、販売管理、出退勤・就業管理・給与管理、会計・資産管理、情報共有、情報分析、注文管理、請求入金管理の各システム

★特徴：配合と生産をシステム連携させ大手GMS/コンビニの高い品質要求レベルを製造後もトレース出来るシステムを構築、顧客の高い要求に対応

小売業：売上規模50億円

範囲：構想～計画～構築～展開・運用／教育まで

役割：CIO、プロジェクトマネージャ、ITコーディネーター、開発支援マネージャ、運用教育リーダー

導入システム：店舗管理、販売管理、出退勤・就業管理・給与管理、会計管理、情報共有、情報分析の各システム

★特徴：主要なシステムを止まりにくいクラウドで構築。事業継続に対する高い安全性を確保。日常的に必要な度の高い顧客要望を止めないシステムを構築すると共に、支払いなどが障害などで止まらないよう、会社の信用性も向上させた

この他に、7&iホールディングスにて、総合情報システムの構築経験が3回あり

01switch合同会社のメリット

システム構築会社での事業管理経験が約2年あり＝システム見積もりの高い低いを見抜ける



ベンダーがどこで儲けるかの裏を知っている。
価格交渉が出来るので御社優位に！

現状プロジェクトとの関わらせ方

現状の改善系プロジェクトの方向性を全体システムの【立ち位置】から俯瞰・設計出来るので、むしろ、現状プロジェクトにも高い効果が出やすい：チグハグにならない

別立てだと・・・



新しい器＝新システム、を別に与えられるのでどうしても隙間が出る

両立てだと・・・



新しい器＝新システムに合わせて改善PJの方向を決められるので、相性も良く、成果拡大しやすい

新情報システム化構想の考え方

効率化された業務から必要な情報を見やすくタイミングよく提供

基盤情報と活用情報を2面の情報を支えるシステム&仕組み

事業の視点から・・・

収益基盤の安定・顧客満足の上昇・コストの有効活用

業務の視点から・・・

業務時間を短縮（自動化）・精度上げ

経営支援情報の提供

配送と在庫情報のコラボ活用

システムの視点から・・・

メンテナンスが少なくコストが低い

基幹と変化対応の各両面でのシステム

今後の新情報システムグランドデザインの考え方

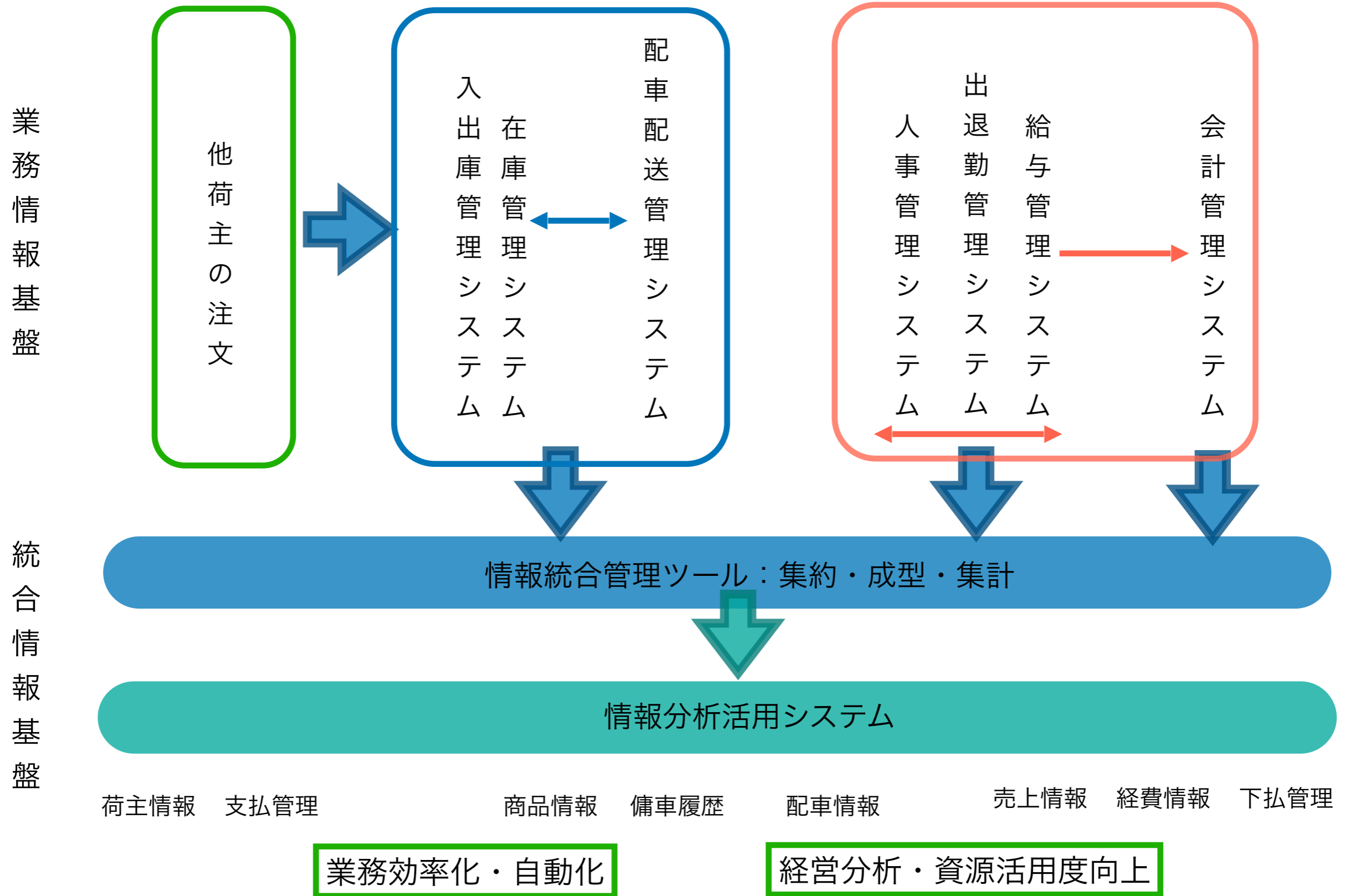
従来の各システム同士をつなぐ発想から

「在庫と入出庫が欲しい」「これは配送量は？ 儲けはどうか」の手間発生



統合基盤でまとめる発想へ：情報集約と情報分析をスムーズに
業務効率化＋情報の活きる化へ

新情報システムグランドデザイン



新情報システム構築のロードマップ案

構想から、ベンダー／システム選定、機能见極めで、フェーズ分けで進める

